



修大 Shudai Hyakkei 百景



9号館共用スペース

9号館にはコミュニケーションがとれる共用スペースを随所に設けています。個性的なペンダントライトには大鍋が利用され、建物内は「三色食品群分類」の色をテーマカラーとしており、フロア毎に鮮やかな色が展開する楽しい空間となっています。



Truth

バックナンバーはこちら >>>



広島修道大学公式SNS >>>



X (旧 Twitter)
@shudo_u



YouTube
@shudo_university



Instagram
@shudo_university



Facebook
@HiroshimaShudoUniversity



広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



Truth

もっと知りたい、広島修道大学

Hiroshima Shudo University

Vol.

227

Autumn
2024



広島修道大学

モミジは広島県の県の木です。モミジのような落葉広葉樹を県
の木としているのは、中国地方では唯一広島県だけのようです。確
かに広島県内には、宮島、三段峡、帝釈峡など、モミジをはじめとす
る紅葉の名所が数多くあり、多くの県民を楽しませてくれています。

モミジは春に新緑が芽吹くと、その後小さな花を咲かせます。夏に
は葉が生い茂り、若々しく涼しげな青モミジの美しさを楽しませてくれ
ます。そして、秋には燃えるような朱色や赤色で美しく景色を彩り、そ
の舞い散る姿にも風情を感じることができます。そんなモミジの花言
葉の一つは「美しい変化」です。季節がめぐることに変化する様
子、季節ごとにみせてくれる美しい姿からきているのでしょうか。そし
て、モミジのもう一つの花言葉に「調和」があります。「変化」と「調
和」は一見まったく方向性の異なった動きのように思えますが、1本1
本の木が季節ごとに美しく色を変えながら、全体として美しく調和し
た景色を生み出す様は、確かにそれを両立させています。私たちが
生きる上でのヒントにもなりそうです。

名所の一つ、佛通寺の参道を歩いていたとき、道の片隅の岩の
割れ目から小さなモミジの枝が伸びているのが目に留まりました。陽
の当たらない苔むした岩と、細いながらも力強く伸びた枝先で紅葉
したモミジは、参道全体を華やかに彩る紅葉にもまして美しい姿に
みえました。

や の いずみ
学長 矢野 泉



佛通寺、路傍
作 矢野 泉



©2024 広島修道大学人間環境学部助教 長谷川尚弘

人間環境学部 長谷川尚弘助教は、海の動物「ホヤ」につ
いて研究しており、沖縄県久米島沖に生息する「ガイコツ
パンダホヤ」が新種であることを突き止めました。ホヤは
世界で約3,000種、日本の海だけでも約300種いると言わ
れています。日本国内には、ホヤ類について未調査の海域
も多くあります。長谷川助教はさまざまな海域で調査を進
め、ホヤ類の系統分類学的研究に取り組んでいます。

系統分類とは、生物の種類分けをするために、生物が進
化してきた道筋にしたがって分類する方法です。進化の道
筋を確かめるときに、膨大な遺伝子のDNA配列データを
分析する必要があります。このDNA配列データを分析す
るための研究分野は生物学とデータサイエンスの融合的
分野であり、バイオインフォマティクスと呼ばれています。
長谷川助教が携わっているバイオインフォマティクス分野
の基礎となる情報技術について、本学の全学共通科目で
学ぶことができます。



はせがわ なおひろ
長谷川 尚弘助教
人間環境学部
専門分野：系統分類学、進化学



▲北海道豊浜町の海でホヤを採取する様子

動かない海の動物「ホヤ」の新種発見！その名は「ガイコツパンダホヤ」

CONTENTS

2 SHUnDAI 旬な修大

4 特集対談

株式会社ロッテ
代表取締役社長執行役員
中島 英樹 氏
×
学長
矢野 泉

『独創性が未来を拓く。
未知に挑むパイオニアであれ。』

10 未来への探求
森平 准次 教授 健康科学部12 修大人の飛翔 -活躍する卒業生
村岡 垂衣 さん 広島県警察14 修大人 -在学生紹介
古川 珠理 さん 健康科学部健康栄養学科4年
松田 寧音 さん 健康科学部健康栄養学科4年15 地域発見
ひろしまGlobal Bridge16 サークルインフォメーション
サークルニュース／広報スタッフインタビュー17 Shudo×SDGs
ひろみら地域協創スタジオ
『連携自治体の投票区割の見直しによる
地域民主主義の活性化』

18 Campus News

20 INFORMATION

24 修大百景
9号館共用スペース

特集 対談

本学の卒業生で、
株式会社ロッテの代表取締役社長執行役員を務める
中島英樹氏が、大学を再訪。
ロングセラー商品を生み出す秘訣や開拓者精神などについて、
学長と語り合いました。

独創性が未来を拓く。未知 に挑むパイオニアであれ。

株式会社ロッテ
代表取締役社長執行役員 **中島 英樹 氏**

広島県出身。1987年に広島修道大学商学部商業学科（現在の商学科）卒業後、株式会社ロッテに入社。ロッテ冷菓株式会社執行役員、株式会社銀座コージコーナー代表取締役（出向）、株式会社ロッテアイス代表取締役、株式会社ロッテ専務取締役執行役員を歴任し、2024年4月より現職。

お口の恋人

LOTTE



広島修道大学

広島修道大学 学長 **矢野 泉**

広島県出身。商学部教授。広島大学大学院生物圏科学研究科博士後期課程修了。博士（農学）。専門は食料流通学。商学研究科長、ひろしま未来協創センター長、副学長を務め、2022年4月より学長就任。

オリジナリティへのこだわりが、 ロングセラーの秘訣

矢野 この度は、株式会社ロッテ代表取締役社長執行役員へのご就任、おめでとうございます。卒業生の活躍を大変うれしく思います。

中島 ありがとうございます。広島修道大学を訪れるのは卒業以来。今日の対談を楽しみにしていました。

矢野 中島社長は1987年に商学部をご卒業されましたが、学生時代はどのようなことに注力しましたか。

中島 大学生になって出会いの幅が広がったことで、友人



との交流に時間を割いた記憶があります。当時の同級生や先輩後輩とは今でも交友関係が続いていますよ。仕事で広島修道大学の卒業生と会った際には、初対面でも母校の話を通

して自然と打ち解けられました。

矢野 本学で過ごした時間は一生の財産になっているのですね。これからも多くの学生が充実した学生生活を送れるよう、努力を重ねたいと思います。

さて、株式会社ロッテ(以下、ロッテ)について伺います。ロッテは、時代を超えて長く愛される商品を数多く世の中に送り出しています。一般的に新商品のうち定番として生き残るのは数%と言われる中、ロングセラーを生み出す秘訣とは何なのでしょう。

中島 ロッテが創業以来大切にしてきた価値の一つが、「オリジナリティ(独創性)」です。例えば、ガムのベースにはもともと「酢酸ビニル樹脂」を使用していましたが、ロッテは日本ではじめて「天然チクル」を使用し、よりふくよかな噛み心地を実現しました。また、チョコレートの『ガーナミルク』は、ガーナ産のカカオ豆やスイス流の製法にこだわり、今までにない口どけの滑らかさをめざしました。このように、原料や製法にこだわり、これまで世の中になかった商品を

開発してきたことが、ロングセラーの秘訣だと考えています。

矢野 オリジナリティがある点はもちろん、味や食感など、五感で感じるこだわりを追求されているところに驚きました。

中島 日本人は口どけや滑らかさに敏感なので、五感の感じ方を重視して細部までこだわることが日本の市場に受け入れられている理由だと思います。また、商品開発の段階だけでなく、市場に定着してからも定期的に改良を重ねています。『雪見だいふく』でいうと、おもちを冷凍下でいかに柔らかく、伸びる素材にできるかを数年おきに見直しています。

矢野 そうだったのですね。常に改良を重ねて完成度を高めていく姿勢が商品を通じてお客さまに伝わっているからこそ、長く愛され続けていると思いました。ロッテのコーポレートメッセージ「お口の恋人」も、昔から広く親しまれているフレーズですね。

中島 コーポレートメッセージは、創業当時から変わらず発信し続けてきました。商品やお客さまに対して、長年にわたり一貫した思いで向き合っていることの表れです。

開拓者精神を持ち、 新たな道を切り拓く

矢野 変化が激しく予測の難しい現代社会において、普遍的な価値を持続けるために、大切にされていることは何ですか。



▲対談後キャンパスを見学 屋上から建設中の新体育館を視察した

中島 ロッテは、2023年に新たなパーパス(企業の存在意義)「独創的なアイデアとこころ動かす体験で人と人をつなぎ、しあわせな未来をつくる。」を策定しました。先ほどお伝えしたオリジナリティや独創性を企業活動の中心に据えると同時に、パーパスを従業員全体に浸透させることが大切だと考えています。幸せな未来をつくるためにどのような価値を生み出すべきなのか、従業員一人ひとりが自分ごと化して落とし込むことをめざしています。

矢野 本学もロッテの皆さんを見習い、広島という地方都市の大学としての存在意義を常に教職員皆が確認・検証しながら、教育や研究を進めていかなければならないと強く感じます。

本学では、初代学長の思いを受け継ぎつつ、本学の構成員が持つべき志として、「開拓者精神」というワードを大切にしています。ロッテは、歯を丈夫で健康に保つ『キシリトールガム』をはじめ、画期的な商品で業界全体に大きなイノベーションを起こしてこられたと思います。中島社長は開拓者精神についてどのようにお考えですか。

中島 人々の心に残るものを生み出すためには、先ほど述べたオリジナリティやパーパスを大切に、今までにない分野に切り込んでいくのが近道であると考えます。その思考や行動が、開拓者精神につながるのではないのでしょうか。

矢野 挑戦の姿勢が大切だということ

ですね。2040年に開学80周年を迎える本学でも、パーパスとなる将来構想「VISION2040」を策定しました。その中で「開拓者精神:未知(道)を切り拓く挑戦と創造の拠点」というビジョンをつくり、新たな世界を切り拓いていく挑戦と創造をテーマに掲げています。ロッテは2048年に創業100年を迎えられるとのことですが、これからどのような事業を展開されるご予定ですか。

中島 サステナビリティ経営を軸にさまざまな事業を展開しようと考えています。商品に使用する原料や包装材料をはじめ、多様な観点で持続可能性を意識し、これまで培ってきた知見を社会課題の解決につなげていきます。また、現在特に注目しているのが「エンゲージメント」の向上、つまり弊社を取り巻くステークホルダーの皆さんとの信頼関係の醸成です。その一環として、従業員のご家族を職場見学に招待する「Family Day」を始めました。工場やオフィスなどの職場を見学していただき、ご家族に仕事に対する理解を深めていただくとともに、従業員のやりがいや帰属意識を高めます。既に予想の3倍もの応募があり、驚きました。

矢野 素晴らしい取り組みですね。家族の愛が職場への愛となり、ひいては幸せな生活、豊かな社会につながる一歩であると感じます。



逆境を乗り越え挑戦することが 成功につながる

矢野 ロッテは、イノベーションを創出する土壌づくりとして、DEI*を大切にされています。本学もVISION2040の指標であるVALUEの一つにDEIを掲げており、多様な背景を持つ人々が学びたいキャンパスの創出をめざしています。DEIの実現に向けて具体的なアイデアはありますか。

中島 弊社は、特にダイバーシティを重視しています。女性管理職の比率を高めたり、キャリア採用を積極的に進めたりする中で、従業員の多様な個性が生かせる環境をつくりたいと考えています。

矢野 実は、本学職員の管理職に占める女性の割合は50%を超えています。女性の皆さんの頑張りとともに、性別にとらわれることなく、採用や管理職への登用を行ってきた成果だと思います。

中島 素晴らしいですね。ぜひ弊社も見習いたいです。誰もが働きやすい環境をつくり、自然とダイバーシティが担保される状態になることが理想です。

矢野 それでは、最後に学生にメッセージをお願いします。

中島 広島修道大学が掲げている通り、学生の皆さんには開拓者精神を持って、積極的にチャレンジしてほしいと思います。ロッテが創業からこれまで成長できた理由の一つは、「足りない」が多かったからです。お菓子メーカーとしては後発であったため、業界の慣習が分からなかったり、原料が手に入らなかったりと苦労もありました。しかし、挑戦者だからこそ他社と差別化するために独創性のある商品開発ができたのです。足りないことは悪ではなく、逆境に負けず頑張ることが成功への道筋となります。

矢野 学生に響く貴重なお言葉をありがとうございます。今回の対談では、ロッテが大切にしている独創性やパーパス、企業経営に対する姿勢などをお伺いしました。本学と共通する部分も多く、今後のより良い大学運営に生かしていきたいと思います。

本日はありがとうございました。

*DEI(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)…Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(包摂性)の頭文字を取った略語



▲企業、大学の未来について語り合う

TOPICS

私とロッテ 思い出のお菓子

中島 英樹 社長
チョコレート
ガーナミルク



「母の日ガーナ」が大反響

『ガーナミルク』は、1964年にロッテが初めて発売したチョコレートです。口だけにこだわり他社との差別化を図った商品でしたが、当時はあまり売れ筋ではなく、私が営業部署に所属していた際には販売促進に苦労した覚えがあります。現在のような看板商品になったのは、2001年のあるスーパーでの催事がきっかけでした。母の日に、カーネーションの代わりに赤いパッケージのガーナを送ろう、というキャンペーンをパートの方が開催したのです。小さなお子さまも気軽に購入できる「母の日ガーナ」は一気に話題になり、売り上げが急増しました。ふとしたことから大きなイノベーションを生み出した事例として、とても思い出深い商品です。



矢野 泉 学長
ガム
イブ



華やかな香水ガムに魅了

子どもの頃、ゲームコーナーの景品で『イブ』に偶然出会い、「こんなに良い香りのお菓子があるのか」と衝撃を受けました。イブはキンモクセイやローズなどの甘い花の香りが印象的な香水ガムです。金色のパッケージが高級感を醸し出していました。当時はリフレッシュを目的とするクールミント系のガムが主流でしたが、お口のエチケットが意識され始めたタイミングで、ロッテが良い香りの香水ガムを発売されたそうです。子ども心にもその高級感のとりこになりました。時代の流れによって1995年に生産中止となっていたようですが、8月に復刻販売されたそう。もう一度味わえるのが楽しみです。



広島修道大学は、「VISION2040」を策定しました

2040年の広島修道大学ビジョン

開拓者精神：未知（道）を切り拓く挑戦と創造の拠点

広島修道大学は2040年に開学80周年を迎えます。変化が激しく予想困難なVUCA*1時代において、本学のあるべき姿を描き、社会の変化に対して柔軟に対応するため、上記の「VISION」を掲げました。VISIONを達成するための基本指標・大切な価値観として、6つの「VALUE」も策定。本学が理想とする姿に到達するためにどのようなことに取り組むべきなのか、バックカスティング思考*2で考え、具体的な事業計画にVISIONを反映させていきます。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

*1 Volatility(不安定さ)、Uncertainty(不確実さ)、Complexity(複雑さ)、Ambiguity(あいまいさ)という4つの言葉の頭文字をとった造語
*2 将来の理想の姿を想像し、そこに到達するために今何をすべきか考える方法

詳しくはこちら



未来への探求

心理療法における

イメージのはたらきを捉える

健康科学部 教授
もりだいら じゅんじ
森平 准次

放送大学大学院 文化科学研究科
文化科学専攻博士後期課程修了
博士(学術)

専門分野
臨床心理学
主要研究テーマ

心理療法における変容の機序、精神病理や心理学的
課題の臨床心理学的理解、イメージとリアリティ

“イメージのはたらきをとおして、
私たちの心には何が起こるのだろうか。”

心理療法という心の営み

心理療法という言葉から、どのようなことを
想像されるでしょうか。心理療法は、何かしら
の心のテーマを抱えたクライアント(心理療法
やカウンセリングに來談された方)がセラピス
ト(心理療法家)の元を訪ね、関わっていく中で
変容を求めていくプロセスです。

私の研究は、心理療法の中でイメージがど
のようにはたらくのか、そしてそれがクライエン
トさんをどのように変容させるのか、というこ
とをテーマにしています。心理療法といっても、
さまざまな理論や技法がこれまでに考えられ
てきています。私が主に依拠しているのは、ユン

グ(Jung, C. G.)の実践や思索から発展してき
ている分析心理学やユング心理学と呼ばれる
学問の流れです。

イメージを媒介にする

心理療法で扱う素材に、イメージがあります。イ
メージは、夢分析や箱庭療法、アート表現療法、
子どもを対象としたプレイセラピー、といった技
法の中で扱われます。夢も箱庭作品も、イメージ
の現れです。中でも私は夢分析を好んでいます。

よく見られる夢には、落ちる夢、追われる夢、
海の夢などが挙げられるでしょうか。例えば、
暗い建物の中の階段を下りていく夢が報告さ

れたとき、心理療法の中でその夢について話し
合います。もしかしたらそれは、クライアントさん
が普段気づいていない心の領域に踏み入って
いこうとしているのかもしれません。そこに何
があるのか、それをどうしようとしていくのか、
一緒に考えていきます。夢は本当に興味深く、
さまざまなテーマを描いています。

クライアントさんに立ち現れるイメージは、多
くの人に共通していたり、共有されたりするよう
なモチーフを含んでいます。それらは、神話やお
とぎ話、昔話などに現れます。例えば水のモチー
フは、神話などにもよく現れますね。そして、水の
イメージといってもさまざまな動きや状態、あり
方をしています。船人を呑み込んでしまう水もあ

りますし、水から命が誕生することもあります。
水に潜ることとそれまでとは別の存在になって
しまうこともあります。それらのお話は、個人を
越えた人間の心理学的なテーマがイメージとし
て現れたものだと考えます。クライアントさんの
語る夢などのイメージへの理解は、神話などを
参照することで豊かにできる可能性があります。
そしてその作業の中で、クライアントさんに変容
が起ってくることもあるのです。

イメージの はたらきを捉える

クライアントさんは一人ひとりが個性を持っ
ており、心の課題も、心理療法のプロセスも、そ
れぞれに異なっています。ですから、私は事例
研究を重視しています。論文の中でクライエン
トさんの語りやセラピストの関わり、そして変
化について個人情報保護した上で報告し、
それを理論に立ち戻って検討していきます。そ
のような事例研究の積み重ねが、理論をさら
に厚く豊かにしていきます。

イメージがクライアントさんを捉え、体験さ
せる中でどのような変容が起ってくるのか、
それを理解していこうとするのが私の研究の
柱です。そしてそれは、人がその人生を生きて
いくうえでイメージとどう関わっていくのか、そ
の中でどのような自分になっていくのか、とい
うことと関わっています。ですから心理療法の
みならず、多くの人の生き方とも関連するテー
マだと考えています。

詳しくはこちら▶



[左写真の書籍]

C・G・ユング『赤の書 [図版版]』/ 創元社

C・G・ユング『分析心理学セミナー 1925 ユング心理学のはじまり』

S・シャムダサーニ、W・マクガイア編、河合俊雄監訳、猪股剛、小本
曾由佳、宮澤淳滋、鹿野友章訳 / 創元社

『ユングの芸術』C・G・ユング著作財団編、山中康裕監訳 / 青土社

修大人の飛翔

活躍する卒業生 GRADUATES MESSAGE Vol.51

学生時代に打ち込んだこと

在学中はさまざまなことに打ち込みました。現代経済学科では、経済学の基礎をはじめ、産業政策の影響などを学びました。サークル活動はソフトボール部に所属して日々練習に励み、チームで取り組むことの大切さや継続することの重要性を学びました。中国大会に出場できたのは良い思い出です。

また、防犯パトロールや防犯教室などを行う「スリーアローズ」という広島県警察が事務局を務める学生防犯ボランティア団体にも参加しました。その時に関わった警察官の優しくて安心感のある印象が、小学校の時に接した警察官の姿と重なり、警察官という仕事に魅力を感じました。在学中に警察官と関わったことは貴重な経験でした。

警察官をめざしたきっかけ

幼い頃から警察を題材にしたテレビ番組を見る機会が多く、自然と警察の仕事に興味を持つようになりました。また、在学中に交通事故の現場に遭遇し、救急搬送まで見届けた経験が、警察官になりたいという気持ちを強くしました。大学3年生になって進路を考えた時、それまでの人生を振り返ると、一番興味を持っていたのが警察の仕事だと気づきました。そこから警察官採用試験の勉強に取り組み、採用試験に合格することができました。

警察官としての人生のスタート

半年間の警察学校を経て、最初に交番勤務を経験しました。親の影響でバイクに興味があり、せっかくなら白バイに乗って交通事故を減らす活動をしたいと思い、白バイ隊員をめざすようになりました。約5,000名の警察官が所属する広島県警察ですが、交

通機動隊はそのうち約40名と、白バイ隊員になるには狭き門を突破する必要があります。私は交番勤務をしつつ上司に志願し続けて推薦をいただき、白バイ隊員の第一歩である養成課程に入ることができました。訓練では、身長が低いこともあり、他の人と比べてなかなか上手に乗ることができずに苦労しましたが、無事修了することができました。

白バイ隊員として

その後、交通機動隊に配属され、交通指導取締りのほか、白バイ展示や駅伝のイベント対応、要人警護における先導や警戒など、さまざまな業務を経験しました。

配属当初はお世辞にも運転が上手いとは言えませんでした。練習を積み重ねることで交通機動隊員の中から県の代表選手として特別訓練員に指名され、全国の白バイ隊員が安全運転の技術を競う「全国白バイ安全運転競技大会」に出場できたことはとても印象深いです。

女性白バイ隊員として15年ぶり 全国都道府県対抗男子駅伝の先導

広島県で唯一の全国規模の駅伝大会である「天皇盃 第29回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会」の先導も経験しました。それまでも駅伝やマラソンの先導を務めたことはありましたが、この大会は規模も大きく、男性隊員が先導しているところしか見たことがなかったので、選ばれた時はとても光栄に思いました。先導に当たっては、この大会の先導を経験された先輩方からアドバイスを受けながら、入念に走路の下見をしました。大きな問題もなく選手の安全確保という任務を完遂でき、先導が終わっ

詳しくは
こちら



た後は安堵の気持ちでいっぱいでした。

警察官としてのこれから

警察官として大切にしていることは、県民の方とのコミュニケーションです。警察官を見るだけで緊張するという方もいらっしゃると思いますが、「警察官って怖い」という印象は持ってほしくないで、親身になってお話を聞くことで、警察官に対する印象を少しでも良くできればと考えています。

また、自動車の性能は上がっていますが、現在も多くの方が交通事故で命を落としています。交通事故は誰しもが当事者になる可能性があります。交通死亡事故を減らし、交通事故で悲しむ人がいなくなる広島県をめざし、今後もパトロールや交通指導取締りを積極的に行っていきます。

知人から仕事を尋ねられた時、警察官と答えると、「大変だね」とよく言われます。警察官は法に則って現場で活動をしなければならず、対応する事案の幅も広いので、確かに大変な仕事だと思います。しかし、県民の方から感謝されることも多く、とてもやりがいのある仕事だと日々感じています。この記事を通じて、警察官に少しでも興味を持っていただけたらうれしいです。

私のターニングポイント

在学中に交通事故現場に遭遇した経験から、警察官になり交通事故を減らしたいという気持ちを強く持つようになりました。広島県警察では、白バイ隊員として交通機動隊に配属され、交通事故の抑止に携わることもできました。



交通事故で悲しむ人が
いなくなる広島県に。



広島県警察
むらおか あい
村岡 亜衣さん

経済学部 現代経済学科
2014年3月卒業



修 大 人

在学生
紹介
Vol.59



ふるかわ しゅり
⑤ 古川 珠理 さん

健康科学部 健康栄養学科 4 年
広島県立高陽東高校出身

まつだ ねね
⑥ 松田 寧音 さん

健康科学部 健康栄養学科 4 年
広島県・広陵高校出身

「ニューコンだけで作ったOne!」漬物グランプリ2024で金賞を受賞

全日本漬物協同組合連合会主催の「漬物グランプリ2024」において、本学学生の開発した漬物「ニューコンだけで作ったOne!」が、中学生から大学院生までを対象とした「学生の部」にて、70作品ほどの応募の中から「金賞」を受賞しました。

応募のきっかけは先輩の研究

私たちのゼミの先輩が「広島菜の乳酸発酵漬物の開発」の研究を行っており、そこで漬物開発に興味を持ちました。卒業研究で漬物を作り、その完成した漬物に対し官能評価*1による評価*2を行ったところ、他のゼミ生たちに非常においしいと好評でした。そこからゼミ教員の黒飛知香先生に漬物グランプリのことを教えていただき、応募することにしました。

失敗を繰り返しながらも粘り強く取り組む

漬物の研究は就職活動と同時並行だったので、両立させるのが大変でした。授業の空きコマなどを使いながら、食品学、衛生学、微生物学など、今まで学んだ知識を振り返りながらさらに調べ、先生とディスカッションや実践を繰り返しました。研究を始めたばかりの頃は試作の段階で腐ってしまったり、うまく発酵しなかったりと苦労しました。しかし、失敗から結果を振り返り、先生方と一緒に粘り強く取り組み、改良を重ねたことで、最終的においしい漬物を完成させることができました。

試作を重ねた漬物開発の面白さ

葉物野菜は種類によって乳酸菌が増えやすいもの、増えにくいものがあります。そのうえで、せっかく取り組むのであれば、どんな野菜でも確実に乳酸発酵できるような配合をめざしました。試作を重ねるなか、漬物の本漬け後の重量変化など、改めて食品研究の奥深さを体感することができて非常に楽しかったです。何度も試行錯誤した結果、漬物のpH低下や乳酸菌数の増加によって、おいしい乳酸発

酵漬物ができたときは嬉しく、達成感がありました。

また、私たちのゼミでは、完成品がゴールではなく、さらに、そのおいしさに影響する要因や特性について機器分析や官能評価を用いた数値化まで取り組んでいます。漬物開発は、授業で学んだことの復習になることも多く、充実した研究活動でした。

受賞作品のコンセプト

漬物は手作りすると手間がかかります。近年では減塩志向から浅漬けタイプが主流になっており、漬物を食べなくなったら市販されている浅漬けの漬物を購入する方が多いと思います。今回私たちが開発した漬物は、乳酸菌飲料やコンソメといった手軽に入手できる食材を用い、短時間で誰でも簡単に作ることができます。塩分量を少なく仕上げることができた点も気に入っており、昔ながらの乳酸発酵漬物らしいしっかりとした酸味もポイントです。

グランプリへの挑戦で得たもの

今回の経験を通じて、粘り強く挑戦する大切さを学びました。漬物を完成させるまでには、試作段階から完成品までしっかり発酵しているかどうかのデータ分析による裏付けなど、さまざまなことに取り組みました。

また、漬物グランプリ授賞式の会場となった東京ビッグサイトで、多くの人を前にプレゼンテーションを行ったことは、自分を変えることでできた貴重な経験でした。今回の金賞という栄誉ある賞は、黒飛先生やゼミ生など、多くの人の支えがあったからこそ結果です。これからも、一人では成し得ないことも仲間と協力して取り組み、さまざまなことに挑戦していきたいと思います。

*1…人の五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）に頼って物の特性や人の感覚そのものを測定する方法

*2…同じ商品を試用した対象者が、年齢性別などのセグメント別でどのような嗜好性があるのかを把握する調査

「ニューコンだけで作ったOne!」



ニュースはこちら



地域発見

地域と大学をつなげる学び

本学の学生が、地域の方々とともに地域の課題を解決する活動の企画・実施や調査・研究を行う「地域つながるプロジェクト」。プロジェクト活動の一部をご紹介します。

在住外国人が暮らしやすい地域づくりへ ひろしまGlobal Bridge

活動概要 2023年度に、廿日市市に住む外国人が暮らしやすい地域づくりに貢献することを目的に活動しました。廿日市市の危機管理課が作成した日本語版のハザードマップをもとに、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語の5言語に翻訳したハザードマップの多言語版を作成し、廿日市市国際交流協会ほか市内6か所に配布しました。また、同市が発行する既存の多言語ゴミ分別表も印刷し一緒に配布しました。

マップ制作にあたっては、日本人向けに作成された情報量の多いマップから、外国人の方に最低限知っていただきたい情報を取捨選択し、多言語版に翻訳しました。多言語化は人手も時間もかかる細かい作業で苦労しましたが、地域に持続可能な好影響を与える良い活動ができたと思います。大学のグローバル科目などで学んだことを意識し、在住外国人への聞き取り調査から始め、日々の生活に喫緊に必要なものを制作できたことが成果です。活動終了後もさまざまな反響を頂いており、広島県立図書館に多言語版ハザードマップの寄贈も行いました。

プロジェクトリーダー

さかた いくほ
坂田 郁穂 さん

国際コミュニティ学部 国際政治学科 4 年
広島県立安古市高校出身



プロジェクトのあゆみ

2023年6月

廿日市市国際交流協会の多文化共生の推進に関する要望を見て、活動案を企画。キックオフミーティングでその活動案へのフィードバックを受けた。当初の企画は在住外国人との運動会や料理教室など、コミュニティ形成が中心の企画で、実現が難しかったため、再度企画を検討。



2023年9月～11月

本学の留学生へのヒアリング、外国人へのニーズ調査や協議を重ね、最終的な活動内容を決定。外国人の日々の生活に喫緊が必要であり、効果の持続性があるものとして、多言語版ハザードマップやゴミ分別表を制作する企画とし、多言語化に着手する。

2024年1月

教員によるネイティブチェックや、廿日市市総務部危機管理課の方へ協力をお願いし、ハザードマップの最終調整、また廿日市市国際交流協会への最終報告を行う。ゴミ分別表は循環型社会推進課へ訪問し、印刷・配布の許可を取得。2月以降に配布することとなった。



2024年2月～

制作したハザードマップ・ゴミ分別表を在住外国人がよく利用する施設（外国人相談センター、ショッピングモール、スーパーなど）へ配布。

◀プロジェクト連携先である廿日市市国際交流協会での会議の様子。活動初期のキックオフミーティングで企画を発表し、フィードバックをもらう。

◀2月に本学で行われた活動報告会の様子。1年間の活動内容をプレゼンテーションとポスターセッションで発表。ひろしまGlobal Bridgeプロジェクトはポスター賞を受賞。



NEWS

法律研究会

第45回九州瀬戸内学生法律討論会にて2位入賞

九州瀬戸内学生法律討論会に法学部学生が出席し、堤 智貴さん(法学部法律学科3年)が、質問の部で2位の成績を残しました。この結果を受け、12月に行われる「全日本学生法律討論会」に出場します。応援よろしくお願いします。



詳しくはこちら >>>



INTERVIEW

ウエスタン部部長の森田さんに学生広報スタッフがインタビューしました！

Interviewee

もりた かなや
森田 奏哉 さん
人文学部
英語英文学科 3 年



Interviewer

ひろかね あいり
廣兼 愛莉 さん
健康科学部
心理学科 2 年



廣兼 ウエスタン部はどのような活動を行っていますか？

森田 部内にバンドが複数存在するサークルで、邦楽・洋楽など、いろいろなジャンルの音楽を演奏しています。普段は先輩学生が1年生に教えています。

廣兼 どのくらいの数のバンドがありますか？

森田 大きく2つありますが、ライブによっては後輩だけで1つのバンドを作ったり、先輩と後輩が混ざったバンドを構成したりと、ライブごとに変わっています。

廣兼 やりがいや楽しさを教えてください。

森田 ライブ中に観客が盛り上がった時です。また、後輩たちがどんどん成長していく姿を目にした時はやりがいを感じますね。

廣兼 他のサークルに無いような特色はありますか？

森田 邦楽から洋楽まで幅広くコピーし活動しているところです。

ビートルズやオアシス、あいみょんやバックナンバーなどいろいろとカバーしています。さまざまな趣味嗜好の部員が集まっているため、色んな音楽を吸収できるのもウエスタン部の魅力の一つだと思います。また、年1回卒業生の方々と交流する機会もあります。

廣兼 ウエスタン部に入って良かったなと思う瞬間は？

森田 高校生まではずっと邦楽を聴いていましたが、大学でウエスタン部に入って、新しい音楽に触れる機会が多くなりましたね。音楽への興味も幅も広がっていったと感じます。

廣兼 部長として目標はありますか？

森田 サークルの皆が活躍できて、みんながウエスタン部に入ってよかったなと思えるようなサークルにしたいです。

廣兼 今後のご活躍を応援しています。

森田 ありがとうございます。



▲インタビューの様子



▲2024フラワーフェスティバル広島修道大学さつきステージでの様子

Shudo × SDGs



広島修道大学は、SDGs を目標とするのではなく、1つの手段としてその先につながっていく私たちの「望ましい未来」へアプローチしていきます。

ひろみら地域協創スタジオ

連携自治体の投票区割の見直しによる 地域民主主義の活性化



2023年度、「ひろみら地域協創スタジオ」*を活用し、三次市(本学連携協定先)からの依頼に応じて、投票区割の見直しについて調査検討を行いました。

有権者は、原則、自分の投票区に設けられた投票所に行き、投票しなければならないので、投票区の区割りを変更することは、選挙の投票率に影響を与える要因の一つといえます。例えば、投票区の区割りを少なくすれば、投票区の区域が広がり、投票所までの距離が遠くなる人が増えます。そのことを負担に思う人には、それが投票に行かない要因の一つとなり、結果として投票率が下がるかもしれません。投票率が低いということは、その選挙で選ばれた代表者が民意を代表しているといえるのか、さらには組織票の影響力が過大に表出されているのではないかなど、などの問題が発生します。これは民主主義の危機ともいえます。

最近では「投票所」の減少がニュースになっています。まず投票区が設定され、その投票区ごとに投票所が設置されることから、厳密には投票区の統廃合が進んでいるということです。その背景には、人口減少があります。

人口が減少していく中で、投票区割をどうするかは大きな課題です。広島県内でも人口減少が進む市町を中心に、投票区の統廃合が

進められ、2001年には全県で1,419箇所あった投票区が2023年には1,221箇所まで減っています。

投票区の統廃合によって投票率が大幅に下がってしまうことは、「参政権」の保障という観点からは許されません。そのため、投票区の再編を行う場合には、経費の妥当性や事務の効率性を確保しつつ、投票率を低下させない(できれば上昇させる)投票区の最適配置(再編)が求められます。

この取り組みでは、人口減少が進む三次市について、有権者数が極めて少ない、いわゆる過小投票区の解消をめざし、投票区の最適配置を検討し原案を作成しました。

原案作成に当たっては、データ分析に基づいた合理的な基準を数理モデルにより設定し、複数回に及ぶ協議を重ね、合理的で説得力のある投票区割を求めました。

2024年6月には、この取り組みで作成した原案を「たたき台」に、三次市に投票区再編を検討する委員会が設置され、さらなる検討が進められています。

*本学と連携協定を締結している地域が抱える課題の解決に向けて、人材と研究成果を活用しながら、連携先とともに描いた未来を実現していく場





2024年度地域つながるプロジェクトが採択され活動開始（6/3）

本学の学生が、地域の方々とともに地域の課題を解決する活動の企画・実施や調査・研究を行う「地域つながるプロジェクト」に2024年度は5件のプロジェクトが採択された。学生の主体性や豊かな人間性を育成し、「地域社会の発展に貢献できる人材の養成」をめざす。今年度2月に活動報告会が行われ、各プロジェクトが1年間の活動を報告する。

No.	プロジェクト名	参加学生数	担当教職員 (所属学部)
1	今日から僕らは五月っ子!?	8	川瀬 正樹 (商学部)
2	安川に咲かそう地域の笑顔 上安・みんなでフラワープロジェクト	11	世良 和美 (商学部)
3	宮島観光活性化プロジェクト ～中江町と創る新しい宮島～	8	石田 崇 (人文学部)
4	安芸太田に来てみんなさ!!	8	森河 亮 (法学部)
5	田幸を多幸に!	12	澤 俊晴 (国際コミュニティ学部)

Culture Jam 2024を開催（6/29・30）

Culture Jam 2024を開催。今年度のテーマは「環～めぐる～」。メイン会場である修大講堂では、文化局サークルが集い、バンド演奏やダンス、ジャグリングや公開ラジオ、ビンゴ大会などが行われた。また、修大講堂ロビーでは、まんが愛好会の作品、美術部の絵画や書道部の書など、学生の熱のこもった作品が展示され、それぞれの会場は活気に溢れた。



学長表彰等表彰式および成績優秀奨学生等奨学金採用証書授与式を開催（6/5）

2023年度学長表彰・資格取得表彰式・課外活動奨学生採用証書授与式、2024年度成績優秀奨学生・留学生教職員給付奨学金・アーネスト奨学金採用証書授与式を執り行い、約250名の学生および教職員が出席。学業や課外活動において、自ら目標を立てて努力し、優秀な成績を残した表彰者へ、矢野学長より表彰状が授与され、各表彰・採用奨学生を代表して12名の学生が、家族や友人、教職員への感謝や、これからの目標達成に向かう意気込みを述べた。



オープンキャンパスを開催（7/20・21）

7月に第1回・第2回オープンキャンパスを開催。各教室では教員による学科説明のほか、模擬講義や入試対策などのプログラムを実施。学部別在学相談などの個別相談ブースでは、入学後の学びや学生生活のこと、入試などの疑問に教員や在学学生が答えた。学生スタッフShuddy'sによるキャンパスツアーも多くの方から好評を博した。第2回では図書館前で混声合唱団による歌のパフォーマンスも行い、さまざまなプログラムを通して本学の魅力を発信した。



アリゾナ州立大学からの学生を歓迎（5/23～6/28）

5月23日、アリゾナ州立大学から来た学生・教員合計27名の歓迎会を実施。一行は「2024年度日本語・日本文化セミナー」に参加し、6月28日まで本学のセミナーハウスに宿泊し、日本語や日本文化を学んだ。



海外インターンシップの事前ミーティングを実施（6/14・21）

海外インターンシップを行う人文学部と健康科学部の学生が集まり、事前ミーティングを実施。このインターンシップは、フィリピン・セブ島の貧困問題を解決するために活動するNPO法人「DAREDEMO HERO」が派遣先。コロナ禍の影響で5年ぶりの派遣再開となった。



災害ボランティアリーダー養成講習会を開催（7/4・11）

ボランティアに興味のある学生を対象に、災害ボランティアリーダー養成講習会を開催。ボランティア経験豊富な講師の方々をお招きし、活動事例や体験談をお話いただき、災害ボランティアについて深く考える機会となった。



「測量の日」功労者感謝状が贈呈された（6/14）

東京都の中央合同庁舎にて贈呈式が執り行われた。商学部 川瀬正樹教授の地理空間情報技術の活用促進、普及・啓発の多大な貢献に対し、国土交通省・国土地理院より、「測量の日」における功労者感謝状が贈呈された。



業界・企業・仕事を知る!スペシャルトークセッションを開催（6/25～7/8）

「マスコミ・広告」「公務(公安)」「100年企業(製造業)」「街づくり・インフラ」「公務(行政)」「銀行・金融」「教育・学習支援」の7つのテーマに関わる企業・団体などに登壇いただき、パネルディスカッションを実施。延べ342名の学生が参加した。



修道力フォーラムを実施（8/2）

「私立大学をとりまく環境—これからの教育について—」をテーマに、2024年度第1回FD・SD研修会「修道力フォーラム」を実施。関西学院大学名誉教授村田治先生をお迎えして、私立大学の現状や大学教育の課題などについてご講演いただいた。



薬物乱用防止セミナーを開催（6/20）

広島県警察本部刑事部組織犯罪対策第三課から隅田孝行氏をお招きし、「薬物乱用防止セミナー」を開催、学友会に所属する約80名の学生が参加した。薬物乱用の危険性について考える良い機会となった。



留学フェアGlobal Weeksを開催（7/8～19）

留学経験者や外国語の教員が世界各地の文化や魅力などを紹介するGlobal WeeksをiCafeで開催。来年春季に海外セミナーを予定している、クライストチャーチ、ハワイ、アリゾナ、サラマンカ、リヨンの5つの地域が紹介された。



学長杯水泳競技大会「修大チャレンジカップ」を開催（8/3）

第20回広島修道大学学長杯水泳競技大会「修大チャレンジカップ」を開催。県内11高校が参加、本学水泳部とあわせて総勢129名が、24種目の競技に挑んだ。(写真は最優秀選手を輩出した沼田高校水泳部の皆さん)



INFORMATION

刊行物紹介

『これで使える実践Webスクレイピング Pythonで学ぶWeb情報収集』

【執筆等教員】金 徳謙(商学部) 金徳謙著 九州大学出版会 2024年5月 190ページ 2,970円(税込)

現代におけるインターネットは宝の山になった一方、他方で膨大な情報の中から必要な情報を収集することは難しくなり、インターネットを有効活用するスキル、いわゆるWebスクレイピングが注目されるようになった。本書は、初学者を対象にデータサイエンスについての理解と、インターネットからデータを収集するWebスクレイピングに必要な知識や考え方を分かりやすく解説しスキルの習得をめざす実用的解説書である。



『Corpora in Interpreting Studies : East Asian Perspectives』

【執筆等教員】石塚 浩之(人文学部) Cheung, Andrew K.F. / Liu, Kanglong / Moratto, Riccardo編 Routledge 2023年12月 274ページ 30,372円(税込) ※為替レートにより、金額は変動します。

今やコーパスは言語研究のさまざまな分野における主要な研究ツールである。通訳研究におけるコーパスの活用は萌芽的段階ではあるが、近年、ヨーロッパ言語のみでなく、アジア言語における成果も増えている。本書は、中国語・韓国語・日本語を含む通訳コーパスの活用に焦点を当て、東アジアにおける通訳研究の現状と可能性を示す。第14章では「通訳データベース(JNPCコーパス)」を活用し、英日同時通訳の品質評価について考察している。



『大学で「英語」(ことば)と向き合う一色とりどりの英語の世界』

【執筆等教員】戸出 朋子(人文学部) 戸出朋子, 西光希翔, 石田崇編 ひつじ書房 2024年4月 195ページ 2,420円(税込)

大学で英語を学ぶことの価値が、一般に、技能習得のみの限られた範囲で捉えられる傾向があり、英語関連学問領域が見えにくくなっている。本書では、英語圏文学・英語学・応用言語学(英語教育学・通訳翻訳研究)という異なる領域を研究する広島修道大学人文学部英語英文学科の教員が、自らの領域の魅力を若者を中心とする一般読者にエッセイ風に語りかける。異質なものが創り出す万華鏡のような英語関連研究の世界が描かれている。



『重度・重複障害児の学習とは?Vol.2

障害が重い子どもの能動的な学習を促進する学習内容と学習環境の設定』

【執筆等教員】樋口 和彦(人文学部) 樋口和彦編著 平田香奈子,三木由美子ほか共著 ジアース教育新社 2024年2月 176ページ 2,420円(税込)

『重度・重複障害児の学習とは?』の第2作目。表出が微細な重度・重複障害児の能動的な学習を促進するための「学習内容」と「環境設定」について解説している。重度の子と他者(教師や職員、子ども)との関係はどうあるべきなのか?特別支援学校教員、大学の研究者、療育センター指導員がそれぞれの立場から実践を通して理想の姿を導き出した。子どもの能動的な表出を読み取るヒントを豊富に掲載している。



『最新教育キーワード 165のキーワードで押さえる教育』

【執筆等教員】牧瀬 翔麻(人文学部) 藤田晃之,佐藤博志,平井悠介,長田友紀編著 時事通信出版局 2024年3月 345ページ 2,750円(税込)

本書は、「令和の日本型学校教育」(中央教育審議会答申)、「持続可能な社会の創り手の育成」および「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」(第4期教育振興基本計画)など、今日、実現がめざされる教育ビジョンを中心に、厳選した教育キーワード165項目を見開き1ページで解説している。各項目には参考文献を紹介し、読者の関心に応えられる内容となっている。教育を学ぶ学生や現職の先生方はもちろん、広く教育に関心をもつ一般読者にも手に取りやすい一冊である。



『カフカふかふか』

【執筆等教員】山尾 涼(人文学部) 下園りさ,木田綾子編著 白水社 2024年3月 186ページ 1,980円(税込)

本作は、西日本を中心としたカフカ研究者で構成された「カフカ研究会」(1978年発足)のメンバー8名によって執筆された。各人がカフカ作品の印象深い一文を引用したのち、それにまつわるそれぞれの解釈を述べる構成となっている。カフカエスクとも表現されるカフカ独特の不条理な作風は、時として読者の解釈を拒むかのような難解さがあるが、本作は一般の読者に向けてカフカを解釈する楽しさを示すことを目的とした。



『自治基本条例を軸とした、参加と協働の地域づくりの課題と展望』

【執筆等教員】門脇 美恵(法学部) 東海自治体問題研究所・地域づくり研究会編 東海自治体問題研究所 2024年3月 83ページ 500円(頒価)

本書は東海地方における自治基本条例の制定と活用の実際を、地域住民と研究者との共同作業で検討・分析するものである。少子高齢化のさらなる進行は「2040年問題」と呼ばれ、いわゆる「増田レポート」では、大都市圏から外れる多くの自治体が「消滅可能性自治体」などと名指しされる。しかし、まさにそのような自治体で、地域での課題に地道に向き合って暮らしを守るための住民による活き活きとした取り組みが確実に存在する。



『地方自治をめぐる規範的秩序の生成と発展』

【執筆等教員】門脇 美恵(法学部) 榎原秀訓,本多滝夫編著 日本評論社 2024年4月 367ページ 8,250円(税込)

国と地方公共団体との関係はかつて「主従関係」と呼ばれていた。これを「対等」化し、憲法上保障された地方自治を実質化しようとしたのが2000年施行の地方分権一括法であった。上記改革から四半世紀、コロナ禍での政府対応の難を理由に、改革の成果を揺るがす地方自治法改正法案が6月に閉会した第213回通常国会で成立した。本書はかかる時代に危機感を共有する研究者による、地方自治ないし自治をキーワードとする論文集である。



『伝統社会の司法利用 東西比較の可能性』

【執筆等教員】前田 星(法学部) 松本尚子編 大阪大学出版会 2024年2月 354ページ 5,500円(税込)

本書には伝統社会(必ずしも前近代には限らない)において、司法を巧みに「利用」する人々の姿を描き出す複数の論稿と、それらへのコメントが所収されている。近代的市民社会や権利意識では理解しきれない紛争解決の在り方について、洋の東西を問わず比較検討がなされている。執筆者はこの中で、「司法利用」概念の提唱者M. デイングスによる、近世ヨーロッパにおける司法利用と医療利用の類似性・差異性を論じる講演を翻訳している。



『憲法訴訟の実務と学説』

【執筆等教員】松本 奈津希(法学部) 渡辺康行編 日本評論社 2023年12月 384ページ 6,160円(税込)

本書は、憲法・行政法研究者と実務家が協働し、これからの憲法訴訟のあり方を追究するものである。執筆者が担当した箇所(「生存権訴訟の類型化と審査のあり方―自由権的側面を起点として」)では、近年の裁判例を含めた生存権訴訟について、生存権の自由権的側面という新たな切り口からの類型化を試みている。また同時に、生存権領域において従来認められてきた、広範な立法・行政裁量の統制可能性についても、検討を加えている。



『韓国文化の昔と今 「何となく知りたい」から「もっと知りたい」へ!』

【執筆等教員】宮内 彩希(法学部) 宮内彩希著 三恵社 2024年4月 218ページ 2,200円(税込)

本書は、韓国文化に関心を持ち「何となく知りたい」と思い始めた読者のために書かれた入門書である。文化は絶え間なく変化するものであるので、韓国文化の「今」だけではなくその由来や歴史的変遷に重点を置いているのが特徴である。雑学知識のある読者、あるいは韓国語学習者が、学術的に韓国文化を学ぶための前段階として読めるよう工夫した。構成は、歴史・地理概観、日常・非日常の文化、大学・エンタメ文化からなっている。



『健康・スポーツの栄養学―大学教養講義』

【執筆等教員】山内 有信(健康科学部) 山内有信著 三恵社 2023年11月 158ページ 2,420円(税込)

運動・スポーツの実施のためはもちろんのこと、身体をつくるには、栄養素の働きを理解し、正しく摂取する必要がある。本書は、大学教養科目での利用を想定しているが、正しい食事摂取を考えるには栄養代謝の理解が必要である。そのため、やや踏み込んだ専門的内容になっている。しかし、少しでも理解して、これからの健康づくりのための運動や、大学における競技スポーツセンスとして活用してもらえればと思う。



『NPMの導入と変容―地方自治体の20年』

【執筆等教員】山中 雄次(国際コミュニティ学部) 山中雄次著 晃洋書房 2023年3月 196ページ 3,850円(税込)

2000年初頭、わが国の地方自治体の間で、民間に業務を委ね、また民間の経営手法を取り入れる概念や手法である「NPM(New Public Management:新公共経営)」が大流行した。それから約20年経過したが、実際にNPMがどのように取り入れられ、変容を遂げ、そして今も息づくのか、明らかにされてこなかった。本書は、地方自治体の現場の視点から、その解明に取り組んだ成果である。



INFORMATION

第64回 修大祭 11/3 日・祝 10:00～19:30



WEB サイト



修大祭
Instagram



修大生はもちろん、卒業生や保護者、一般の方も大歓迎！

今年のテーマは「開花～今を楽しめ修大祭～」です。

コロナ禍が収束し、今までの規制から解放されたという気持ち。また、ずっと前から準備していた発表者にはステージでの発表を通して開花して欲しいという想い。そして、来場者には今を楽しんでもらいたいという想いが込められています。

①プレイグラウンド企画

バドミントン部や観光愛好会などの37団体が屋台出店
ステージにて、
アーティストライブ、サークル発表

②講演会

芸能人ゲストによる
講演・トークショー
📍 修大講堂

③ゲーム教室

射的を実施、景品もあります！
📍 フォーラム2階

④ウッドステージ企画

演武祭やサークルによる
演奏会、作品展示

⑤マーケット企画 (キッチンカー・物品販売)

📍 図書館前

⑥キャンドルナイト企画

キャンドル、イルミネーションが
修大祭の夜を彩る
ライトアップイベント
📍 ハーモニーロード

⑦ビンゴ大会

📍 修大講堂

※ご来場につきましては、公共交通機関をご利用ください。
※タイムテーブル、企画紹介などの詳細については
本学公式WEBサイト掲載のパンフレットをご確認ください。

新体育館完成までの道のり ④

学校法人修道学園創始300周年にあたる2025年度の完成をめざして、新体育館建設工事が行われています。「新体育館完成までの道のり」第4回となる今回は、体育館の躯体を造り上げていく工事の様子をお届けします。体育館完成に向けて、今後は屋根部分の組立工事が始まる予定です。



詳しくはこちら >>>



※写真はイメージです

工事などの様子



1階床面型枠組立工事の様子



鉄骨建方工事の様子



プレキャストコンクリート段床（3階
観客席ベンチ部分）設置の様子



3階床面施工の様子

寄附のお願い

学校法人修道学園

創始300周年記念新体育館建設事業寄附金

広島修道大学のさらなる発展にける思いをご理解いただき、新体育館建設事業寄附金募集に格別のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新体育館建設事業寄附金
お申込みはこちら >>>



広島修道大学寄附金

平素より広島修道大学の教育活動にご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。より一層のあたたかいご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

広島修道大学寄附金
お申し込みはこちら >>>



EVENT

ホームカミングデー

11/3 日 13:00～(予定)

卒業生対象ホームカミングデーを昨年に引き続き本学にて開催します。
本学卒業生であればどなたでもご参加いただけますのでぜひご参加ください。

参加お申込みは
こちら >>>



入試相談会

開催地	開催日	会場	時間
広島	9月18日(水)	基町クレド	15:30～18:30
広島	10月5日(土)	NTTクレドホール	11:00～17:30
松江	10月25日(金)	松江テルサ	16:00～18:30
広島	11月6日(水)	基町クレド	15:30～18:30
岡山	11月7日(木)	岡山コンベンションセンター	16:00～18:30

※変更となる場合もありますので、本学入試情報サイトで確認のうえ、ご参加ください。

入試情報サイト >>>



入学試験スケジュール >>>



アンケートにご協力ください

「広報誌TRUTH」や「本学の広報活動」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

応募締切:1月31日(金)

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※色は選べません。

アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEB上にてご回答ください。
<https://ws.formzu.net/dist/S22355869/>



抽選で20名さまに
「修大オリジナル 消しゴム(シード 消しゴム
薄型ホルダースレンディプラス)4色」を
プレゼント! (どれか1つ)



表紙写真のご紹介 表紙撮影場所:3号館前広場

3号館・図書館前に広がる広場は多くの学生が行き交います。広場に設置されたベンチは、学生の待ち合わせ場所や休憩スペースとして利用されています。また、チェコスロヴァキアの民主化を主導したヴァーツラフ・ハヴェル初代チェコ共和国大統領の遺徳を偲ぶ、会合や議論、考察を促す空間を生み出す芸術プロジェクトである「ハヴェルのベンチ」も設置されています。(2021年12月設置)